

流通とSC・私の視点

2011年1月26日

視点(1373)

日本の経済力の未来評価とは!!

日本を含む各国の未来の名目経済力(2015年・2020年・2025年・2030年のGDP)は次のようになると予測しました(六車流:マーケティング理論)。

	成長力(想定)		2010年(調整)		2015年		
	2011~2020年	2021~2030年	GDP(億ドル)	%	GDP(億ドル)	%	
アメリカ	2.5%	2.0%	149,400	24.9	169,032	24.3	
アジア	日本	3.5%	3.0%	52,800	8.9	62,710	9.0
	中国	8.0%	6.0%	54,000	9.0	79,344	11.4
	インド	6.0%	8.0%	13,200	2.2	17,665	2.5
	その他アジア	4.0%	6.0%	32,400	5.1	39,420	5.7
	小計	約5.5%	約5.5%	152,400	25.4	199,139	28.6
その他	2.0%	2.0%	298,200	49.7	329,237	47.1	
合計	約3.0%	約3.3%	60.0兆円	100.0	69.7兆円	100.0	

	2020年		2025年		2030年		
	GDP(億ドル)	%	GDP(億ドル)	%	GDP(億ドル)	%	
アメリカ	191,245	23.4	211,150	22.1	233,127	20.8	
アジア	日本	74,480	9.1	86,343	9.1	100,095	8.9
	中国	116,582	14.3	156,013	16.4	208,781	18.6
	インド	23,639	2.9	34,733	3.6	51,035	4.5
	その他アジア	47,960	5.8	64,181	6.7	85,889	7.7
	小計	262,661	32.1	341,270	35.8	445,800	39.7
その他	363,504	44.5	401,338	42.1	443,110	39.5	
合計	81.7兆円	100.0	95.4兆円	100.0	112.2兆円	100.0	

※IMFの資料を基に弊社で予測しました。

日本の経済成長を日本政府の予測及び弊社予測を加味して、2011~2020年までを3.5%、2021~2030年までを3.0%としました。日本がアジアの成長マーケットへの外需と国内のポストモダン消費の内需により、毎年のGDPの名目成長が3.0~3.5%となるのは不可能ではないと思われます。

現在(2010年)のアジア全体のGDPは15.2兆円で、アメリカの14.9兆円にほぼ匹敵します。このアジア全体のGDPは、日本が3分の1、中国が3分の1、その他が3分の1になっています。アジア全体では2020年まで毎年5.5%のGDP成長率が想定され、中でも中国は8.0%、インドは6.0%の高い成長率が見込まれています。2021年以降では、中国は成長力がやや低下し、逆にインドは中国を上回る高い成長率が想定されます。

2020年度の日本と日本を取り巻くアジアの経済を分析すると次の通りです。

- ①日本のGDPは74,480億ドル(655兆円・1ドル88円換算・2010年の平均)で、アメリカは日本の2.6倍(アメリカのGDPは191,245億ドル)、中国は日本の1.6倍(中国のGDPは116,582億ドル)になることが想定されます。中国はアメリカの61%にまでGDPが近づきます(現在は36%)。
- ②2010年現在、アジア諸国には日本を除くマーケットとしてのGDPが99,600億ドル存在し、日本のGDPの1.9倍のマーケットとなっています。それが2020年には、アジア諸国の日本を除くマーケットは188,181億ドル存在し、**日本のGDPの2.5倍のマーケットに成長**します。
- ③2020年には日本の国内消費44,688億ドル(74,480億ドル×60%)、アジア諸国(日本を除く)には94,091億ドル(188,181億ドル×50%)のアジア消費が存在することになります。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺
代表 六車 秀之